

坊守日記 Vol.6 2014年4月9日



慌ただしく過ぎていく3月から4月になり、春爛漫の季節となりました。今年の冬は本当に寒くて、カンヒザクラが例年より遅く開花し、お中日頃に満開を迎えていました。その後、3月も終わる頃になってソメイヨシノが開花を始め、シダレザクラが後を追うように咲き始めました。

今日現在、ソメイヨシノは葉桜へと変わり花びらをひらひらと舞い散らせていますが、シダレザクラは今がちょうど見頃となっています。また、本堂の北側にある大島桜は、真っ白な花びらを大きく広げて、青空と白のコントラストで目を楽しませています。こちらも今が満開とばかりに咲き誇っています。

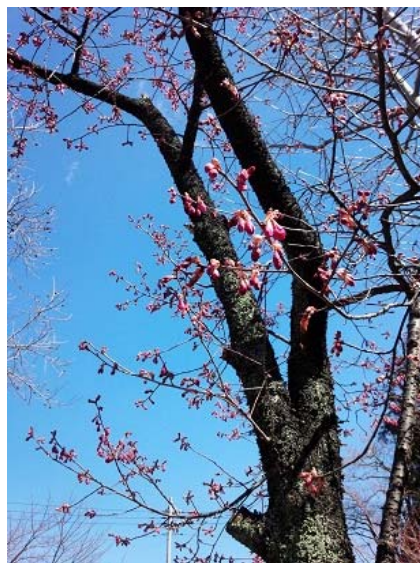
13日の永代経法要をお勤めするにあたり、去る6日に清掃奉仕会が行われました。午後から雨模様の天気予報にも関わらず、老若男女の方々が集まってくださいました。

男性陣は本堂周りのお掃除をして、女性陣と子供たちは仏具のお磨きをしました。くすんでいた仏具をみんなで磨くとみるみるうちに輝きを取り戻すので、美しくなった仏具に心もきれいになる感じがしました。子供たちも慣れない手つきながらも、「ぴかぴかになったね。上手だね!」と褒めてあげると、次々に競って磨いてくれました(笑)。

1時間ほどですべての仏具を磨き終えて、みんなで正信偈のお勤めをして終了となりました。今年も安心して永代経法要をお迎えできそうです。



境内の春の始まりはふきのとうから。毎年楽しみに採集される門徒さんもあります。



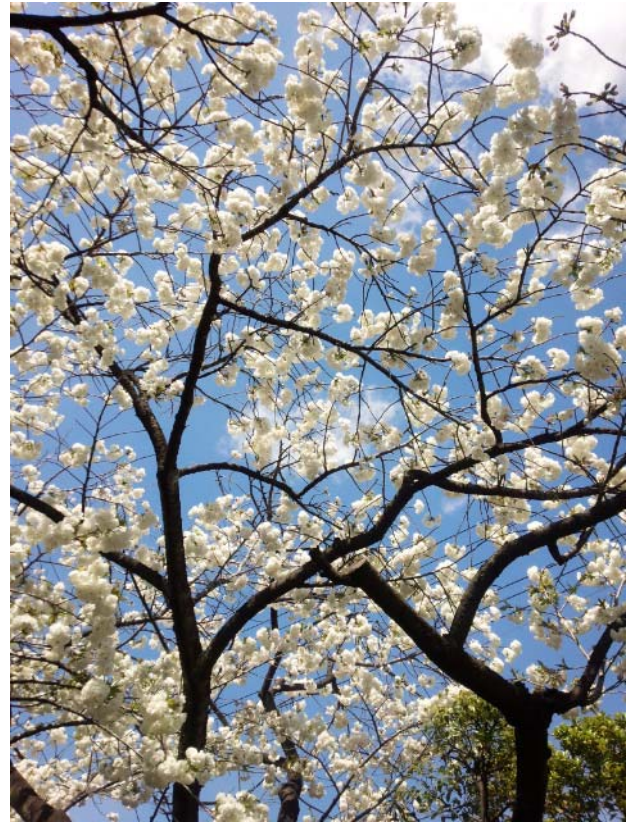
こちらは3月15日頃咲き始めたカンヒザクラ。ちょうどお中日ごろに満開となりました。



ユキヤナギも短い間ですが、美しい姿を見せてくれました。緑と白の対照的な色がとても綺麗です。



昨年秋に母が作った玄関前のチューリップ畑。
年々増やしていこうかと話しています。桜も癒されますが、チューリップも見ていると幸せな気分になりますね。



大島桜。真っ白い桜というのなかなか珍しいものです。「あの白い花の木は何ですか？」と聞かれることも多いです。



お掃除会の前にみんなで
集合写真！



大人でもかなり力を入れて磨いているのに、
次から次へと磨いていく子供たちに脱帽です。
とってもありがたい、大戦力でした(笑)。



次回は永代経法要の模様をご報告します。